

歴史

本校は平成28年3月をもって閉校します。今までの卒業生数は、1万5千人を超え県内外で活躍しています。昭和16年当時、実業界の雄で岩川町ご出身の岩崎嶋八郎氏が、この地域の若人の将来や地域産業開発、また、中等学校の存在しなかつた曾於中部地区の事情に着目され、巨額の浄財を学校建設に充当することを岩川町に申し出ました。これにより、「岩川町立岩川工業学校」が創立されました。



閉校記念体育大会出席者全員で校歌斉唱する姿

しかし、学校敷地は決まっていたものの校舎はなく、しばらく岩川青年学校を間借りする形でのものでした。校舎建設は、職員生徒がともに整地作業から始めるというとても大変なものでした。校舎が、「我々の学舎が遂に完成し、私もこの上なく、例えようもありません。階段を上った降りたりする度

しかし、学校敷地は決まっていたものの校舎はなく、しばらく岩川青年学校を間借りする形でのものでした。校舎建設は、職員生徒がともに整地作業から始めるというとても大変なものでした。校舎が、「我々の学舎が遂に完成し、私もこの上なく、例えようもありません。階段を上った降りたりする度

となった校歌の全員合唱は、母校に対する同窓生の思いがひしひしと伝わり感極まるものとなりました。午後は本校卒業生である俳優の吉満寛人氏による記念講演がありました。生徒がMC役を務め対談する形式で進行し、「本物を演じるためには本物を見て感動すること、読書は想像力を豊かにし演技の幅を広げる」など、本物に触れるための自己投資の大切さを伝えていただきました。展示として、高山高校の今昔を示す写真や授業で製作された作品、卒業生の作品を含む伝統ある美術部の数多くの絵が展示されました。

空澄み渡る大隅の地に74年 岩魂よ永遠なれ!

岩川高等学校 教頭 鶴川 聖一

に心が弾み、掃除をするときも一生懸命力を入れて磨きあげました。」との創立記念誌の記述から完成の喜びがうかがえます。

発展・校内行事の様子

創立後、学校は、昭和19年「鹿児島県立岩川工業学校」、昭和23年「鹿児島県立岩川高等学校」と改称されました。創立時の建築科・工業化学科に、昭和23年に普通科が加わり、昭和37年に電気科と機械科が増設されました。昭和50年には、1

学年11クラス1200人を超える生徒たちがこの学舎に集っていました。体育系部活動では、陸上・ボクシング・弓道が全国大会・国体などで活躍し、文化系部活動の吹奏楽部は、近隣の老人ホームや市民祭・弥五郎どん祭りなどで演奏し地域の方々に親しまれました。

今年度のこと 感謝

今年度は、閉校記念行事として体育大会・文化祭を開催し、同窓会・保護者・PTAのOB・地

域の方々に参加いただくなど大いに盛り上がる大会になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。また、部活動では、ボクシングウエルター級で全国高校総体、国体に出場し、工業系では電気工事部門で九州大会準優勝、全国ロボット大会で6位入賞という快挙を達成してくれました。まさに有終の美を飾るにふさわしい一年になりました。

「地域から惜しまれる閉校を目指そう」という気持ちで岩川高校に関わった全ての人たちに伝わったのではないかと思います。今日までのご支援誠にありがとうございました。

その他の主な教育活動

本校はこれまで地域に開かれた学校として、ボランティア活動に積極的に取り組んできました。本年度は、生徒・職員全員で肝付町の伝統行事である流鏝馬祭の準備・運営に1カ月以上にわたって参加しました。

は、年4回実施され、神社や寺、幼稚園、町内施設、病院、高齢者宅などの清掃活動を通じて地域の方々との交流をさらに深め、「小さな親切」実行章をいただくことが出来ました。

結びに

これまで、本校の教育

活動を支えてくださいました保護者・同窓会・地域の方々に心より感謝申し上げます。同窓生が築

かれた輝かしい伝統に浴す榮譽を心に記憶し、平成28年3月に有終の美を飾ります。

閉校記念体育祭

雨天のため一日遅れの9月7日、平日開催となりました。しかし、保護者を始め、多くの同窓生や地域の方々が時間を作って参加してくださいました。閉校記念種目では、

学校の歴史を振り返り、

閉校記念文化祭

11月15日に開催され、生徒を中心に保護者・同窓生・地域の方々と交えながら大いに盛り上がり

ました。午前中はステージでの個人参加や茶道部によるお手前披露、クラスの個性を生かした出し物の他、保護者が製作した生徒の入学後約3年間の映像と共に愛情溢れるメッセージソングが披露されました。加えて、30人を超える同窓生が中心

となつた校歌の全員合唱は、母校に対する同窓生の思いがひしひしと伝わり感極まるものとなりました。午後は本校卒業生である俳優の吉満寛人氏による記念講演がありました。生徒がMC役を務め対談する形式で進行し、「本物を演じるためには本物を見て感動すること、読書は想像力を豊かにし演技の幅を広げる」など、本物に触れるための自己投資の大切さを伝えていただきました。展示として、高山高校の今昔を示す写真や授業で製作された作品、卒業生の作品を含む伝統ある美術部の数多くの絵が展示されました。

ました。閉校記念種目では、学校の歴史を振り返り、

語り継げ!記憶に残せ!高山高校 ~120年の歴史に感謝~

高山高等学校 教頭 下高原 涼子

これまでお世話になった地域へ恩返しをしたという思いです。スタートさせた地域貢献活動「おんがえしプロジェクト」



閉校記念体育祭で撮影したもの。生徒、職員、保護者、同窓生など

これまで、本校の教育活動を支えてくださいました保護者・同窓会・地域の方々に心より感謝申し上げます。同窓生が築

かれた輝かしい伝統に浴す榮譽を心に記憶し、平成28年3月に有終の美を飾ります。